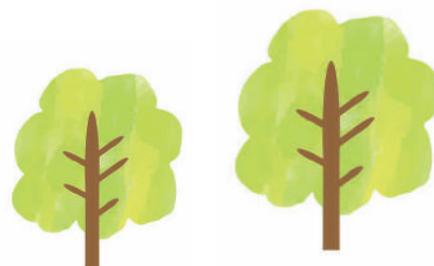


目次

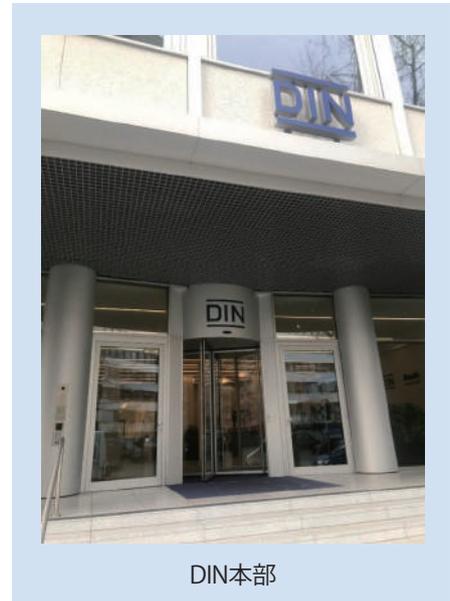
- ISO/TC58/SC4 (容器及び附属品の使用規格) 国際会議参加報告…………… 1
- 第52回IHC会議 (AIGA主催) に参加 …………… 3
- 九州地域本部令和4年度高圧ガス販売事業所・消費事業所保安点検結果 …… 5
- 賛助会員 一株式会社ハマイー…………… 11
- ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2023年2月15日~2023年4月15日掲載— …… 13
- JIMGAオリジナルソングについて…………… 14
- 2023年度主要日程…………… 14
- 新事務職員の紹介 …………… 15
- 気ままにコラム …………… 16



ISO/TC58/SC4 (容器及び附属品の使用規格) 国際会議参加報告

2023年2月13日～16日、ドイツ・ベルリンのThe Deutsches Institut für Normung e.V. (DIN：ドイツ規格協会) で開催されたISO/TC58/SC4国際会議に出席しました。

ベルリンは東西冷戦の象徴の都市であり、市内には今でも崩壊したベルリンの壁の一部が現存しており、近代史に手で触れることができる貴重な場所です。また、プロセイン王国の凱旋門（1788年～1791年）としてアテネ神殿の門を手本にしたブランデンブルグ門や、古代イスラムの遺跡をそのまま移設したような展示物のあるペルガモン博物館等、観光名所が多数点在する観光都市です。



DIN本部



ISO/TC58/SC4は、ガス容器関連の専門委員会（TC58）の下で高圧ガス容器と附属品の使用規格の作成を担当している分科委員会（サブコミッティSC4）です。

JIMGAはKHKを通じてJISC（日本産業標準調査会）から当該国際委員を委嘱されており、年間を通してISO/TC58/SC4が担当する規格案や規格の定期見直しに対して投票案を作成する等の取組みを行っています。



ベルリンの壁の一部（左奥の壁の左側が旧西側、右手前の壁の右側が旧東側）

国際会議はISO/TC58/SC4の年間活動の総括と次の1年の活動方針を決定する会議です。今年は3年ぶりの対面会議（Web会議併用）となり、JIMGA事務局（羽坂）と容器技術WG長（柿木）の2名が日本代表として参加しました。

ISO/TC58/SC4はCGAが事務局として運営しており、今回の会議は、ホスト国のドイツに加え、アメリカ、フランス、イギリス、ポルトガル、カナダ、スウェーデン、ノルウェー、イタリア、日本の10か国、およびECMA（欧州容器製造者協会）代表者、世界LPG協会代表者等が参加しました。



議長（CGA）の議事進行により、SC4事務局から、規格定期見直しの実施状況と来年度の見直し実施予定の報告、各WGからの活動状況報告、関

連ISO委員会および関連団体からの報告があり、またSC4の活動およびTC58全体の活動について9項目が議論され、決議が行われました。このうち、更なる議論が必要ということでWGの活動の延長や、ISOドラフト文書の修正も決議される等、ISO/TC58/SC4の規格化に関する活動を肌で感じることができる会議でした。

次回は、2024年2月5日の週に、今回と同様、ベルリンのDINのオフィスにて開催されることが決定しました。

(技術・保安部会 容器技術WG長 (大陽日酸株式会社) 柿木 一大)



ISO/TC58/SC4国際会議参加者全員の集合写真

第52回IHC会議（AIGA主催）に参加

第52回IHC（International Harmonization Council）会議は、2月28日、3月1日の2日間にわたってシンガポールのジェン シンガポール オーチャードゲートウェイバイ シャングリラホテルで、対面方式により開催されました。

参加者は、AIGA（アジア）2名、CGA（アメリカ）3名、EIGA（ヨーロッパ）2名、JIMGA（日本）3名（澤木専務理事、羽坂常務執行役員、久和野）に加え、IOMA-GC（International Oxygen Manufacturers Association - Global Committee：国際酸素製造者協会-国際委員会）オブザーバー6名（American Air Liquide Holdings、Linde、Messer、Nippon Gases Europe、Nippon Sanso Holdings）とシンガポール産業ガス協会メンバー3名の総勢19名でした。

会議は主催者であるAIGAのMilan Sarkar氏の歓迎の挨拶により開始され、前回第51回IHC会議（EIGA主催）の議事録の確認を行った後、各協会から活動状況について報告がありました。

各協会からの活動状況報告

AIGAからは、AIGAおよびシンガポール産業ガス協会（IGAS）の活動実績が紹介された他、AIGA内での水素に対応する新WG発足や輸送関連WGの統合計画の他、ベトナムにおける容器整備に関する法改正等についての紹介がありました。

CGAからは、引き続き水素に関する教育促進プロジェクトに基づき、ウェブ上（<https://safehydrogenproject.org>）において水素の安全な取扱いに関する教育資料を公開していることやCGAの基準をリンクさせていることの紹介がありました。また、これまで厚みのある本として発行していた「Handbook of Compressed Gases」の電子化を進めるプロジェクトにおいては、各種ガスの物性情報をウェブ上（<https://handbook.cganet.com>）でリリースしたとの紹介がありました。

EIGAからは、今年は発足100周年であること、夏季セミナー開催予定およびEIGAサイトへの満足度調査結果を反映した広報活動をより積極的に行う等の改善策などの紹介がありました。

JIMGAからは、産業ガス部門と医療ガス部門統合の組織改革を行っており、来年4月に新規組織体制となること、経済産業省および高压ガス保安協会と協調し、ASUの遠隔監視等の規制改革活動を精力的に行っていることが紹介されました。



第52回IHC会議の様子

国際統合化指針に関する協議

次に国際統合化指針については、「A-1142食品冷凍機の安全な設置と運転」合同作業部会（JWG）から、二酸化炭素の毒性や酸欠リスクに関しては別指針とすべきとの提案について協議され、体系を整理した上で新規指針の作成提案を行うことが確認されました。

また、HyCO分野に対応するための関係協会におけるWG発足とその対象範囲について協議され、今後CGAおよびEIGAでJWGを組織するための調整を図ることとなりました。水素関連についてはIHCとして教育資料の作成を推進していくことその他、新たに「水素設備の安全距離」、「水素ステーションの設計と運転」および「液体水素移充填のためのコネクタ設計」についての指針についての作成を開始するよう提案がありました。



最後に、AIGAによって招待されオブザーバー参加していた中国AIGAのスタッフから、中国における法体系についての紹介があり、中国ではISO、国際電気標準会議（IEC）および国際電気通信連合（ITU）のみを国際基準として認知していること、また、AIGA基準はローカル指針として参考図書扱いとなること等の紹介があり、今後IHCが中国にどのように関わっていくかを考える貴重な機会となりました。

次回第53回会議（CGA主催）は、2023年8月29～30日にアメリカワシントンDC、CGAオフィスで開催される予定です。

（国際部会 IHC対応WG長（大陽日酸株式会社）久和野 敏明）



第52回IHC会議（2/28～3/1・AIGA主催）参加者集合写真

九州地域本部令和4年度高圧ガス販売事業所・消費事業所保安点検結果

九州地域本部では毎年、高圧ガス販売事業所および消費事業所における保安点検活動を行っています。今年度は、令和2年度、令和3年度同様に感染症対策を実施して点検指導を行いました。

JIMGA販売・消費点検ワーキンググループを中心に、各県支部会会員、福岡県高圧ガス流通保安協会および九州高圧ガス容器管理委員会のご協力で活動した結果、対象事業所は1,291社（前年比95%（△5%））となりました。販売事業所（110事業所）は、指導件数21件中、指導事項上位の教育訓練が14件、また消費事業所（1,181事業所）は、指導件数1,482件中、指導事項上位の管理状況が966件となりました。いずれにおいても感染症が収束しない状況下で、各種訓練・講習会の参加見合わせや開催中止・延期等の影響を受けた結果となりました。

また、近年の自然災害激甚化に備え、取扱事業者としての対策を考える保安セミナー「高圧ガス取扱い事業所の災害対策とBCP」（2022年8月開催）など、豪雨水害対策としての容器転倒・流出防止の注意喚起および改善指導を行っています。その他の点検調査結果についても、指導員より課題を明示し重点的に改善指導を実施しました。

今後も法令遵守および安全な取扱い方を中心に、対面式保安セミナーに加え当協会ウェブサイト掲載のeラーニング・オンデマンド講習等のPC学習も有効活用して、より多くの方にご参加いただけるよう講習会を実施いたします。

自主保安意識を高めることが安全確保には不可欠と考え、関係行政・団体と一体となって点検活動により危険予知・事故撲滅に努め、より安全な販売・消費への指導に取り組んでまいります。最後に、ご後援いただいた九州産業保安監督部ならびに点検指導員423名の皆様のご協力に御礼を申し上げます。

令和4年度高圧ガス販売事業所・消費事業所保安点検結果

1. 期 間 令和4年10月1日～11月30日
2. 点検事業所数 1,291社（販売事業所：110社、消費事業所：1,181社）
3. 改善指導件数 1,503件（販売事業所：21件、消費事業所：1,482件）
全点検事業所1社当たり1.2件の改善指導を行った。
4. 点検指導員数 423名（販売事業所：79名、消費事業所：344名）
点検指導員一人当たり3.6件改善指導を行った。
5. 点検結果
 - 1) 販売事業所110社点検内容（点検40項目／社）
点検項目数4,400件で点検結果否21件の改善指導済み上位内容
 - ①帳票等 4件 最新のSDS（安全データシート）配布、配布記録の整備 3件（2.7%）
 - ②教育訓練 14件 販売先に対する保安教育（直近1年間実施、記録保管）6件（5.5%）
直近1年間で従業員が講習会・防災訓練の参加 4件（3.6%）

2) 消費事業所1,181社点検内容（点検37項目／社）

点検項目数43,697件で点検結果否1,482件の改善指導済み上位内容

- ①管理状況 966件 過去3年間従業員が社内外講習会・防災訓練に参加 327件 (27.7%)
教育訓練を未実施、実施記録を残す 205件 (17.4%)
各種記録の保管・整備 152件 (12.9%)
- ②消費管理等 303件 作業開始・終了時の点検実施 95件 (8.0%)
漏洩検知液（石鹼水等）常備 73件 (6.2%)
- ③容器置場 182件 長期停滞容器 73件 (6.2%)
許可・届出事業での警戒票の適切な掲示 33件 (2.8%)
- ④移動管理 31件 消火器等防災工具の携帯、月1回以上点検 17件 (1.4%)

※4月現在の統計結果を掲載しています。

次ページ以降に、保安点検結果の詳細を掲載しています。また最新の情報については、JIMGAウェブサイトにて九州地域本部 部会等の活動紹介（下記URL）をご覧ください。（閲覧には会員ログインが必要です）

九州地域本部 部会等の活動紹介はこちら↓
<https://www.jimga.or.jp/local/kyushu/bukai/>

（九州地域本部 事務局長 高石 亮太郎）



令和5年1月17日

令和4年度高圧ガス保安点検結果 《販売事業所》

一般社団法人
日本産業・医療ガス協会九州地域本部

1. 点検実施期間 令和4年10月1日～11月30日

2. 点検事業所数及び指摘件数（県別）

県名	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計
点検数	33	6	17	12	13	12	10	7	110
指摘件数	8	0	1	0	4	0	4	4	21

3. 点検指導員数

	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計
点検指導員数	23	6	14	9	13	5	7	2	79
指導員所属会社数	13	4	9	7	9	4	6	1	53

4. 点検結果 NO-1（販売事業所）

結果欄空白は否無し

項目	点検内容	点検結果	
		否の件数・%	
		件	%
販売事業届等	① 高圧ガス販売事業届書(控)の管理（専用のファイルで整備され、所定場所に保管されている）		
	② 高圧ガス販売事業届の内容と現状の相違（社名・住所・販売の方法等）		
	③ 民生用LPガスの販売（液石法による販売事業者の登録をし、所管庁に所定の報告がされている）		
	④ 販売している高圧ガスは種類ごとに届出しているか		
	⑤ 販売主任者は適任者が選任されているか(原則として事業所責任者又は準じる者が望ましい)		
	⑥ 引渡す容器は、腐食・割れ・すじ・しわ等が無く、且つガス漏れがない		
	⑦ LPガス及び圧縮天然ガス容器は、充填期限を6ヶ月以上経過していない容器で供給しているか		
帳票等	① 販売先保安台帳の整備（全ユーザーがあるか、最新のデータか、管理責任者の選任）	1	0.9
	② 周知及び記録（周知文書の配布、周知の記録の整備、周知文書の受領書保管）		
	③ 最新のSDS（安全データシート）を配布し、配布記録が整備されているか	3	2.7
	④ 容器授受簿等が整備され、使用済み容器の早期回収・放置容器撲滅活動を行っているか		
	⑤ 容器貸借契約を締結しているか（契約化推進に取り組んでいるか）		
	⑥ 緊急時の連絡先等が掲示されているか、又その内容が事業所全員に周知されているか		

4. 点検結果 NO-2 (販売事業所)

結果欄空白は否無し

項目	点検内容		点検結果	
			否の件数・%	
			件	%
教育訓練	①	年間教育訓練計画により実施しているか、又教育訓練実施記録は整備されているか	3	2.7
	②	直近1年間で従業員が、外部の講習会・防災訓練等に参加したか	4	3.6
	③	販売先に対する保安教育（直近1年間で実施し、実施記録が保管されているか）	6	5.5
	④	委託運送会社等に対する保安教育（直近1年間で実施し、実施記録が保管されているか）	1	0.9
毒物劇物取締法	①	毒物劇物販売登録票の管理（専用ファイルで整備、所定場所に保管、期限管理をしているか）		
	②	毒物劇物営業者以外への譲渡手続き（販売先は適正か、本人の確認、受領印等の管理）		
	③	毒物劇物営業者への譲渡手続き（適切な受領記録がされ、所定期間(5年間)保管しているか）		
	④	毒物劇物取扱責任者は適切に選任され、法に定める業務を遂行しているか		
	⑤	容器置場は施錠できる構造か、「医薬用外毒物」・「医薬用外劇物」の表示がされているか		
容器置場	①	警戒票の掲示は適切か（高圧ガス容器置場・火気厳禁・無断立入禁止・油脂厳禁等の明示）		
	②	直射日光を遮る措置、及び温度上昇防止措置（容器は常に40℃以下に保たれているか）		
	③	可燃性ガスの容器置場は滞留しない構造か（通風が良いか）		
	④	充填容器と残ガス容器は区分されているか		
	⑤	ガス種別に区分されているか（可燃性ガス・毒性ガス・酸素ガス容器の区分）		
	⑥	容器置場内に不要な物が置かれていないか（計量器等作業に必要な物以外は置かないこと）		
	⑦	容器置場の周囲2m以内での火気使用禁止（除く不活性ガス・空気の置場）		
	⑧	容器の転倒転落防止措置等（チェーン・キャップ等が確実に施され、床面に凹凸は無い）	1	0.9
	⑨	可燃性ガス容器置場では携帯電燈以外の燈火禁止		
	⑩	可燃性ガス及び酸素置場の消火器設置（必要な本数が有り定期検査がされているか）	1	0.9
	⑪	漏えい検知液（石鹼水等）が常備されているか、ガス検知器を有している場合は機能が適切か		
移動（ばら積み車両）	①	警戒標「高圧ガス」を掲示しているか（前後から見える位置、寸法・色は規定のもの）		
	②	容器の転落転倒及び荷崩れ防止処置は適切か（荷台前方に寄せ、ロープ等により確実に縛る）		
	③	荷下し時及び容器と車両間の緩衝材使用は適切か、バルブ損傷防止は処置（キャップ等）適切か		
	④	消防法で規定する危険物との混載禁止、塩素とアセチレンの混載禁止	1	0.9
	⑤	可燃性ガスと酸素の容器バルブの向きは相互に向き合わないようになっているか		
	⑥	消火器・資材及び工具を携行し、それらを月に1回以上点検しているか		
	⑦	必要なイエローカードの携行（所定場所に整理整頓、荷主・運送会社欄の正しい記載）		

令和5年3月1日

令和4年度高圧ガス保安点検結果 《消費事業所》

一般社団法人

日本産業・医療ガス協会九州地域本部

1. 点検実施期間 令和4年10月1日～11月30日

2. 点検事業所件数及び指摘件数

	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計	前年度
点検事業所件数	534	59	137	71	123	103	85	69	1,181	1,245
指摘件数	331	187	228	71	188	165	77	235	1,482	1,806

3. 点検事業所の業種

業種	鉄工・金属	板金・修理	食品・水産	医療	電子部品	造船	素材・化学	解体	土木・建設	車両・部品
		47%	13%	3%	5%	2%	3%	1%	3%	5%
									その他	合計
									11%	100%

4. 点検事業所の使用ガス供給方法

供給方法	バラ瓶	集合装置	LGC	CE	合計
	64%	15%	10%	11%	100%

5. 使用ガス

ガス名	酸素	アセチレン	LP	炭酸	窒素	その他	合計	前年度
使用件数	1,016	781	211	648	201	435	3,292	3,486

6. 点検指導員数

	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	合計	前年度
点検指導員数	146	23	49	28	33	26	32	7	344	345

7. 点検結果 (消費事業所)

項目	点検内容	点検結果	
		否の件数/1,181社	
		件数	%
管理状況	① 消防署への高圧ガス取扱の届け(ガス種及び数量が届け出対象外は「該当なし」)	5	0.4
	② 緊急時の連絡体制表等が掲示され、内容が社内に周知されているか	90	7.6
	③ 各種記録の保管・整備(保安教育、定期自主検査、設備台帳、容器受払台帳等)	152	12.9
	④ ガスの取扱いマニュアル・ガス圧接施工要領書又はこれに準じるものはあるか	52	4.4
	⑤ ガス溶接作業主任者又はガス技能講習修了者がいるか	5	0.4
	⑥ 教育訓練は実施しているか、又実施記録を残しているか	205	17.4
	⑦ 過去3年間に従業員が、社内外の講習会・防災訓練等に参加したか	327	27.7
	⑧ 直近1年間に周知文書を受領し、それらを適切に保管及び社内周知しているか	33	2.8
	⑨ SDS(安全データシート)を受領し、それらを適切に保管及び社内周知しているか	97	8.2
容器置場	① 許可・届出事業での警戒票の掲示は適切か(容器置場・火気厳禁・無断立入禁止・油脂厳禁等明示)	33	2.8
	② 直射日光を遮る措置、及び温度上昇防止措置(容器は常に40℃以下に保たれているか)	3	0.3
	③ 容器を決められた場所に置いてあるか(充填容器と残ガス容器は区分されているか)	10	0.8
	④ ガス種別に区分されているか(可燃性ガス・毒性ガス・酸素ガス容器の区分)	15	1.3
	⑤ 容器置場の周囲2m以内での火気使用禁止(除く不活性ガス・空気の置場)	4	0.3
	⑥ 容器の転倒転落防止措置等(フェン・キャップ等が確実に施され、床面に凹凸は無い)	25	2.1
	⑦ 長期滞留容器は無い	73	6.2
	⑧ 可燃性ガス及び酸素置場の消火器設置(必要な本数が有り、定期検査がされている)	18	1.5
	⑨ 可燃性、毒性ガス置場の通風、換気の状態は良い	1	0.1
消費管理／作業場所	① 作業の開始時・終了時に高圧ガス設備の点検を実施しているか	95	8.0
	② 高圧ガス消費場所は風通しが良く、周囲の5m以内に火気や引火物はない	8	0.7
	③ 容器やホースの設置場所に火花・火の粉等が飛んでこない	6	0.5
	④ 容器の転倒転落防止措置等(フェン・キャップ等が確実に施され、床面に凹凸は無い)	18	1.5
	⑤ 消火器の設置(可燃性ガス及び酸素の使用場所)	19	1.6
	⑥ 漏えい検知液(石鹼水等)が常備されているか	73	6.2
	⑦ 配管・ホース・バンドの状態(ビブ、腐食、汚れ)	10	0.8
	⑧ 圧力調整器は正常か(圧力計の狂い、腐食、汚れ等)	6	0.5
	⑨ 容器弁専用ハンドルは容器の近くに置いてあるか	1	0.1
	⑩ ガスを使用しない時は、容器弁を閉じ、調整器の押しシボを緩めているか	12	1.0
	⑪ LPガス使用の場合、LPガスが滞留しやすい場所にガス漏れ警報器を設置しているか	29	2.5
	⑫ アセチレン容器については逆火防止装置があるか	4	0.3
	⑬ 配管にはガス名、流れ方向及びバルブの開閉表示は明示されているか	20	1.7
	⑭ 作業場所は40℃を越える環境に無い	2	0.2
移動管理	① 警戒標「高圧ガス」を掲示し、イエローカードを携帯しているか	3	0.3
	② 容器の転倒転落及び荷崩れ防止措置は適切か(荷台前方に寄せ、ロープ等により確実に繋ぐ)	1	0.1
	③ 消火器・資材及び防災工具を携行し、それらを月に1回以上点検しているか	17	1.4
	④ 移動前のガス漏れ点検及び保護キャップの装着がされているか	6	0.5
	⑤ 消防法で規定する危険物との混載禁止	4	0.3

賛助会員 —株式会社ハマイ—

沿革

当社は1927年の創業以来、家庭用LPガス容器用バルブを事業の柱として、産業用高圧ガス容器用バルブや、配管用ボールバルブへ事業領域を拡大、2002年には時代のニーズに先駆け水素燃料電池用バルブの開発に着手してまいりました。

また、2013年には韓国・釜山広域市に半導体製造装置用バルブ工場である【株式会社ハマイ코리아】を100%出資にて設立、世界中の多様な業界のお客様に高品質な製品をお届けしています。

工場のご紹介

当社には大多喜工場・府中工場がございます。それぞれ異なった特徴の製品を生産しておりますのでご紹介いたします。

● 大多喜工場



大多喜工場 外観

千葉県房総半島のほぼ中央に位置する大多喜工場は、国内のLPガスボンベ需要の約40%のバルブを生産しており、その他にも多数の製品を生産している工場です。また、工場ラインや建設機械、半導体製造装置などあらゆるフィールドで必要不可欠なボールバルブの生産も担っており、様々なニーズに対して最適な製品を提供しております。

● 府中工場

東京都にある府中工場は、立地の観点からデリバリー効率の良さも兼ね備える工場であり、主に一般的な産業用高圧ガスや半導体製造に用いられる特殊高圧ガスに使用される高圧ガス用バルブを最適な材料選定と高精密加工により生産しております。また、次ページでも紹介しますが、水素用バルブの研究開発等も行っております。



府中工場 外観

90年以上の歴史をベースとした新たな取り組み

脱炭素社会・クリーンエネルギーへの転換が叫ばれる昨今、当社はいち早く水素燃料電池用バルブの開発を主眼としたプロジェクトを発足。世界初となるグローバル規格適合FCV用安全栓を開発いたしました。現在では、電磁弁をはじめ、安全栓、レセプタクル等最先端エネルギーを支える水素バルブを世界へ向けお届けしており、着実に未来の事業基盤構築を推進しております。

これからのハマイも、長年にわたり守り続けてきた「安全」「安心」「高品質」を今後も堅持して先進技術分野の研鑽に取り組み、新たなイノベーションを創出することで、産業界の発展に貢献してまいります。

(株式会社ハマイ 営業本部第三営業 谷口 誠)



詳しくは、以下をご覧ください。

株式会社ハマイ URL : <https://www.hamai-net.com/>



ウェブサイト掲載お知らせ一覧 —2023年2月15日~2023年4月15日掲載—

JIMGAウェブサイトでは、会員の皆様に向けた最新の情報をお知らせページにて掲載しています。2023年2月15日~4月15日までに掲載したお知らせをまとめましたので、URLよりご覧ください。最新のお知らせはこちら→<https://www.jimga.or.jp/news/>



- 2023.04.03 【周知】貨物自動車における荷役作業時の墜落・転倒防止対策の充実に係る労働安全衛生規則の一部を改正する省令及び安全衛生特別教育規程の一部…
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1317>
- 2023.03.29 「高圧酸素の呼吸ガス応用 における 非金属材料の使用」(改訂1版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1316>
- 2023.03.29 JIMGAオリジナルソング~曲名の募集について (4/14まで)
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1315>
- 2023.03.28 医療ガス安全教材 (ビデオ教材) 視聴 申込み受付終了のお知らせ
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1314>
- 2023.03.16 円滑な価格転嫁の実現に向けた要請について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1312>
- 2023.03.15 オンデマンドセミナー「新入社員等向け炭酸ガス保安講習会」の申込受付を開始しました
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1311>
- 2023.03.14 爆発物を使用したテロ等の未然防止に向けた爆発物の原料となり得る 劇物等の適正な管理等の徹底について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1310>
- 2023.03.03 「医療用酸素用一般複合容器のMED刻印シール貼付および再検査期間延長に関するQ&Aの一部改正」についての補足説明追加情報
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1309>
- 2023.03.02 オンデマンドセミナー「新入社員等向け炭酸ガス保安講習会」開催のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1311>
- 2023.02.28 JIMGAnews 第74号発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1307>
- 2023.02.28 「液化ガス蒸発システム — 機器と配管の脆性破壊防止—」(改訂1版)発行のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1306>

- 2023.02.28 【周知】 高圧ガス保安活動促進週間に向けたキャッチコピーの募集の件（高圧ガス保安協会）
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1305>
- 2023.02.20 【周知】 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針等について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1304>
- 2023.02.16 封カップの価格改定について
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1303>
- 2023.02.16 「高圧ガスハンドブック 第4次改訂版」 発送開始のご案内
<https://www.jimga.or.jp/news/detail.php?id=1302>

JIMGAオリジナルソングについて

JIMGAでは、皆さまに安全に産業ガス・医療ガスを使っていただくためのオリジナルソングを制作しました。

2023年4月にウェブサイトにて会員の皆さまより曲名募集を実施し、多くのご応募をいただきました。まもなく一般公開を予定しておりますので、お楽しみに！

(広報委員会 事務局)

2023年度主要日程

2023年度のJIMGA本部主催行事の主要日程は、以下のとおりです。

開催日	行事名称	開催場所
2023年5月25日	2023年度 第1 回理事会 第1 回部門理事会・評議員会合同会議	経団連会館
2023年6月14日	2023年度 定時総会	経団連会館
2023年11月29日	2023年度 第2 回部門理事会・評議員会合同会議	web開催
2024年1月17日	2024年 賀詞交歓会	経団連会館

予定は変更になる場合があります。詳しくはJIMGA本部までお問合せください。

(運営グループ 事務局)

新事務局員の紹介



名 前：高平 進一（たかひら しんいち）

現住所：東京都荒川区

出身地：東京都

略 歴：1986年4月 医療機器メーカー入社（主に商品企画および製造関係に従事）

2013年3月 エア・ウォーター(株) 転籍（医療カンパニー 在宅医療療事業部 市場戦略グループリーダー）

2015年4月 エア・ウォーター・メディカル(株) 出向 市場戦略部長

2018年4月 (株)医器研（現エア・ウォーター・メディカル(株) 出向（取締役開発部長・生産部長・資材部長）

2023年4月 JIMGA 常務執行役員

趣 味：マイナーな趣味ですが、城跡巡りです。主に関東圏にある城跡を月1回のペースで体力維持を兼ねて、回っています。特に平地より、丘陵や山に存在する城跡を巡るサークルで活動しています。

抱 負：社会人になってから、医療業界一筋で過ごして参りました。特に医療機器についてはディスプレイ商品からME機器まで一通り扱ってきましたので、何等かで、皆様のお力になれば幸いです。また、医療ガス業界については、まだ、知識不足の点もあるかと思いますが、業界発展のために尽力してまいりますので、ご指導の程、よろしくお願い申し上げます。



名 前：細坪 幸男（ほそつぼ ゆきお）

現住所：北海道札幌市東区

出身地：北海道

略 歴：1979年4月 (株)ほくさん入社（苫小牧事業所勤務）

1995年4月 (株)大同ほくさん（道南支社 業務グループ）

1999年9月 同上（道南支社 輪西工場）

2014年6月 エア・ウォーター(株)（産業カンパニー輪西工場 業務課長）

2018年4月 同上（産業カンパニー輪西工場 工場長）

2021年7月 エア・ウォーター・ガスプロダクツ(株)（工場統括部輪西工場 専任部長）

2023年4月 JIMGA 北海道地域本部 事務局長

趣味：北海道人なので冬はスキー、春から秋までランニングを楽しんでいます。今年は4月からの各地マラソン大会にエントリー済で、とりわけ4年ぶりに走る憧れの北海道マラソンはオリンピックコースを走れることから、今からワクワクしながら週末札幌市内を走り廻っています。

抱負：現エア・ウォーター（旧ほくさん）に入社し、会社員人生の半分以上を酸素プラントの製造現場を通して、お客様に安全で安定供給の継続を図るには、トラブルの発生前にリスクを低減・排除することの大切さを学んでまいりました。今後は産業・医療ガス業界の発展のため、また会員の皆様のお役に立てるよう誠心誠意精進してまいります。ご指導の程よろしくお願いいたします。



気ままに コラム



我が家には、1匹の愛犬がいます。名前はポッチ、普通チワワという、目がク

リクリなのですが、ポチ目なのでそう名付けました。

この子は我が家4代目のチワワです。3代目までは、祖母、母、娘の親子関係でした。7年前に娘も亡くなり、俗にいうペットロスに陥り、6か月もたたないうちにこの子を家族に迎えたのです。

現在、我が家の生活は、愛犬（ポッチ）中心。土日の買い物から年2、3回の家族旅行まで愛犬と行ける、そして泊まれる宿が必然となっています。ペットが人間に与えてくれる癒しに感謝し、この子よりも長く生きることが飼い主の責任と思いこれからも家族一緒に過ごそうと思います。



（技術・保安グループ 岡田 恵二）